



# 「料理を通じて 奈良に恩返し」

## 6月に新業態の店舗オープン

ベビーフェイス スカイテラス

県内外で80店舗以上を展開している株式会社ベビーフェイス(奈良市松陽台・田中利幸代表取締役社長)は6月、世界一の長さを誇り、企業とコラボした飲み物を提供するドリンクバーを設置した新業態の店舗を同市法蓮佐保山に開業する。「コロナ禍でも店に足を運んできたお客様を見て、奈良で育てていただきたい」として、海外への初のFC出店や新業態への思いなどを聞いた。

—ベビーフェイスはいつ創業されましたか。

昭和54(1979)年に奈良市の新大宮に1号店をオープンしました。その後に、

登美ヶ丘や押熊に出店し、平城山通り沿いに「UNO」を開業していきましたが、今は押熊店のみを直営店として運営しています。

—押熊店以外の店舗は、フランチャイズ(FC)加盟店と

02年からFCという形で展開させてもらっています。本部があまり大きすぎないことで、FC加盟店さんたちと長く商売をやっていく思いを軸の一つにしています。

—全国にFC展開すること

で味の均一化など難しい部分もあると思いますが。

今は本部スタッフとい

う形でスーパーバイザーが入っ

て味をチェックして指導を

しています。一から調理した

ものを提供する、そんな昔ながらの形をずっと守ってい

きたいという思いから、本部

で作ったものを送るといったことはしていません。

味を統一化することに関しては、各社メーカーさんと共同で開発して独自のフレーバートラベルを作つてそれをレンジピに組み入れることで、なるべく味がぶれないと感じています。

—店のコンセプトは。

—店铺ごとの特色は。

—奈良でも6月に新たに直営店をオープンされます。

—世界一の長さのドリンクバー

ンセプトしています。「サッと食べに行こうか」「子どもの好きなものもあるからベビーフェイスに行こう」というぐらい気軽に来てもらえるハーフルの低さをしっかり保ちながら、店内で調理した美味しいものを食べてもいい、「何となく食べに来たけれど意外と色々な話をしてもういたいと思っています」。

—ベビーフェイスの店内は海外の置物を使用した独特な空間を作られています。

—去年にインドネシアに海外FC店1号店をオープンされましたね。

—世界一のドリンクバー」を店内の真ん中に据えていました。それでも表現できないかななど

—世界一のドリンクバー」を店内の真ん中に据えていました。それでも表現できないかななど

—世界一のドリンクバー」を店内の真ん中に据えていました。それでも表現できないかななど

—世界一のドリンクバー」を店内の真ん中に据えていました。それでも表現できないかななど

—世界一のドリンクバー

—世界一のドリンク